



週報

入間ロータリークラブ

2019-2020 RI 会長:マーク・ダニエル・マローニー RI2570 地区ガバナー:鈴木秀憲 会長:滝沢文夫 幹事:晝間和弘

第 13 号 3094 回例会 2019 年 10 月 3 日 (木)

<ビジター・ゲスト>
米山記念奨学生

李志 様

《今月のお祝い》

会員誕生日	山岸義弘君 一柳達朗君	金井祐一君 吉岡信人君
夫人誕生日	滝沢久美子様	繁田美香様
結婚記念日	吉田 勉 君 新井格君 荒井正武君	豊田義継君 一柳達朗君 石川嘉彦君

<❀会長の時間❀> 滝沢文夫会長

「ポール・ハリスの来日と米山梅吉」

米山梅吉は、昭和 8 年ごろに、銀座の立体写真胸像製作所で作らせた自分の等身大の胸像をポール・ハリスに贈っています。しかし、米山梅吉は、まだポール・ハリスに会ったことがありませんでした。ポール・ハリスは、今の日本の大部分のロータリアンにとって、歴史上の人である以上に伝説的な人物でしかありません。



そのポール・ハリスが昭和 10 年 2 月 18 日からマニラで開かれる第 5 回太平洋ロータリー会議に国際ロータリー会長のボブ・ヒルとともに出席し、その折、日本に立ち寄るとの情報がもたらされました。太平洋上の船上からもたらされた情報では昭和 10 年 2 月 6 日から 9 日までの 4 日間日本に滞在するということでした。

東京クラブや横浜クラブでは、これに合わせて歓迎の陣をはり待っていました。ところがなんとといういたずらか、航海中ずっとストーム(嵐)で、船の到着は遅れに遅れました。横浜港到着は 3 日遅れの 9 日の朝 5 時になってしまいました。予定していた準備はすべてご破算、結局東京には 1 日の滞在もできなくなってしまいました。そのため、ポール・ハリスは、自然のストームとは別に激しい歓迎のストームに遭うことになってしまいました。東京会館での東京、横浜ロータリークラブ合同の歓迎会では、はじめ熱狂的なファンからの握手攻めであったということです。東京であちこち引きずり回され、やれやれと硬い、狭いしかもガタガタと揺れる夜行列車の寝台で夜を明かしたのも束の間、翌朝から京都、大阪でまた歓迎のストームが待っていました。大阪での歓迎会場、新大阪ホテルでは、「ハリス夫妻がエレベーターから会場に顔を出すや、待ち構えた一同は拍手と憧憬に異常な興奮ぶり」だったそうです。そして 2 月 10 日の夕刻、一陣の疾風のごとく、神戸港から日本を去っていきました。今、その歓迎日程を見て何とも大変だったことであろうと思われます。ポール・ハリスは、米山梅吉と同じ 1868 年のうまれです。したがって、当時 67 才でした。昔の人は、身も心も強靱であったのかもしれませんが。絶えず注視を受け、絶えず中心にいる、挨拶に立たなければならぬ。好意と友情からの歓迎に、疲れた嫌な顔を見せるわけにはいかない。

いま我々の見るポール・ハリスの写真は、いずれも穏やかないわば諦観したような、モナ・リザではないけれども微笑みをたたえたような、たたえていないような風貌です。畳の上で箸を使って日本料理を食している顔も、東京会館での記念写真の顔もそうです。人間の容貌は、至り来たった苦楽、それにより形成された人格、品格を表すものなのでしょう。

さて、東京での歓迎は、すべからく日本風でありました。まず、二重橋、明治神宮に。そして昼食は、芝公園のなかの日本料理の料亭、紅葉館で、畳の上での箸による純日本料理、ここには芸者もはべらせています。その後、御木本真珠店、三越へ。夜の宴会、東京会館では、部屋を桜の花咲く隅田川の春景色になぞらえ、洋風の窓や戸は日本の提灯で隠し、神社をまねた建物まである。別室の日本古流の茶室では抹茶の接待が行われ、そして、琴、三味線、尺八による合奏とさくら踊りが披露されたとのこと。晚餐会では、ポール・ハリスが君が代のオーケストラ演奏中、天皇陛下のために乾杯をしました。また、日本側から、東京クラブの名誉会員、前首相齋藤實が米国大統領の健康を祝し乾杯し、その間米国国歌が演奏されました。食事も終わりの頃になり、東京クラブ会長鹿島精一が、また横浜クラブの副会長ソマーラーがそれぞれ会を代表して挨拶し、次いで米山梅吉が歓迎のあいさつを述べました。これに続いて、東京クラブの名誉会員徳川家達も挨拶と感想を述べ、次にヒル国際ロータリー会長の謝辞があって、最後にポール・ハリスが挨拶をしました。ポール・ハリスの話は、米山の胸像が自分の事務室にあることなど、尽きることがありませんでした。接待側は、記者に乗り遅れるのではないかと気をもみ、もう時間ありませんとメモを入れて、ポール・ハリスの話がようやく終わりました。一行は、それ行けと、夜9時30発の寝台急行に乗るべく、東京駅に急ぎました。翌朝、京都で降り、京都ホテルで朝食をとった後、市内観光をしました。それから、自動車で大

阪に向かい、新大阪ホテルでの午餐会に臨みました。ここでは、ポール・ハリスにその等身大の胸像が贈られました。大阪城や紀州御殿など市内観光の後、自動車で神戸港を目指しました。そして、神戸港から、横浜港まで乗船してきたプレジデント・クーリッジ号で、夕刻に日本を後にしました。

さて、ポール・ハリスは、この気ぜわしい日程のなかで、帝国ホテルの庭に一本の月桂樹を残しました。ポール・ハリスはこのような記念の植樹が好きだったそうです。月桂樹は、ポール・ハリスの発案になるものであろうか。月桂樹は、日本人にとって一般的ではありません。いわば洋風のもです。この月桂樹は、戦禍のなかを生き延びました。それでも、時間の経過とともに当時の感慨が薄れ、老いも加わり、昭和42年には、帝国ホテルが建て替えを計画し、この月桂樹も取り除かれる手筈でありました。東京クラブの矢野一郎は、これを植え替えてももたないとみて、数百本の挿し木を取って、慈しみ育てました。その何本かが甦りました。その一本は、いま米山記念館の庭に生育しています。

<幹事報告>

晝間和弘幹事

第4回定例理事会 <協議事項>

1. 12月のプログラムについて
2. 災害義援金について
 - ・九州北部豪雨 人500円
 - ・千葉県災害 地区動向に合わせ金額未定
3. 万燈まつり予算について
4. ネパール支援について 継続審議

<報告>

1. 12/8(日)米山記念奨学部門カウンセラー会議・Xmas会
2. 12/14(土)会員増強フォーラム 保留
3. 10月のロータリーレート 1\$ = 108円
4. 10/10(木)入間市戦没者追悼式 滝沢会長
5. 10/18(金)藤沢中学校区健全育成交換会兼地域交流会 関谷会員
6. 11/ 3(日)入間基地航空祭
滝沢会長・晝間幹事

●委員長報告

<会報雑誌委員会> 宮崎正文委員長

【横組ページ】

- ・ P8-P18 マローニーRI
会長来日特集について
- ・ P19-23 米山月間
について



【縦組ページ】

- ・ P20-P21 柳壇 入間南 RC 大野 快三様
- ・ P26-P27 渋谷栄一そっくりさん登場、
希望の風チャリティーコンサート開催

忽滑谷明エレクト

万燈まつりの予算は先ほど理事会にて承認をいただきました。又、役割分担を決めましたので配布いたしました。今年もロータリー活動のパネルを展示し、ロータリーの事業を紹介いたします。そこで子どもたち様にくじを買って来て、クジ引きを行いますので、一柳委員長はじめ皆様のご協力よろしくお願い致します。



<プログラム委員会> 杉田宏充委員長

11月 7日

講師卓話 地区財団役員

11月 14日

講師卓話(子供食堂)

11月 21日

日帰り美術館(ゴッホ展)

11月 28日

講師卓話入間市グリーンセンター長

12月 5日 クラブ年次総会

12月 12日 Xmas 家族例会(ヘリテージ)

12月 19日 講師卓話

12月 26日 蕎麦例会



😊<ニコニコBOX> 馬路宏樹SAA

★李君、今日は卓話楽しみにしています。

「滝沢文夫君、馬路宏樹君」

★長い間欠席しまして申し訳ありません。

「関根靖郎君」

★李君、突然の卓話になってしまいました
が、楽しく拝聴させていただきます。

「白幡英悟君」

★早退いたします。

「関谷永久君」

本日¥51,000

累計¥258,539

<米山記念奨学委員会> 白幡英悟委員長

今月は米山月間です。米山奨学事業の財源であります、寄付を来週以降、皆さんにお願いに上がりますので、去年と同額またはそれ以上のご協力よろしくお願い致します。



<出席報告>

吉岡信人委員長

会員数	出席数	出席率	前々回修正率
42名	28名	70.00%	82.50%

事前欠席連絡 2名

■回覧、配布物

- ① ロータリーの友10月号
- ② 第41回バギオ訪問交流の旅募集要項
- ③ ロータリーカード活用のお願い
- ④ 学友会ニュース 2019-20年度第2号
- ⑤ 10/31 入間 RC60 周年記念出欠表
- ⑥ 入間 RC60 周年記念集合場所・時間
- ⑦ 入間クラブ万燈まつり予算
- ⑧ 万燈まつり役割分担表
- ⑨ 他ロータリークラブ週報&例会変更
- ⑩ 週報12号

■■■講師卓話■■■

《私の地元と日本に来てビックリした事》

米山記念奨学生 李志様



今回卓話をさせていただき、ありがとうございます。この機会に、私の地元のことについて紹介したいと思います。又、日本に来て、ちょっとビックリしたことを話したいと思います。

最初に私の故郷、済寧市を紹介させていただきます。済寧市は山東省にあります。山東省といえば、皆様ご存知ないかも知れませんが、青島ビールの青島は、山東省にあります。山東省は、北京の南、上海の北、丁度真ん中ぐらいです。私の地元の済寧市は、山東省の西南にあります。面積は東京の五倍ぐらいで、人口は東京の五分の三ぐらいです。南は微山湖という湖があります、北は梁山泊というところがあります。実際には、儒教の孔子の出身地や、三國志に出ている兗州と言った古い町が誇られます。まだ、地域はとても大きいので、各県の習慣や方言などが多少異なります。時には、同じ市でも、話がわからない場合もあります。昔は杭州と北京を繋ぐ運河があって、南北の架け橋という存在だったので、南地方の習慣も多少入っています。

例えば、小麦から作られた「饅頭」がよく食べますが、ライスもよく食べます。饅頭といたら、日本の饅頭は餡子などが入っていますが、私の地元の饅頭には、何も入っていません。強いて言うなら、パンに近い食べ物です。

天気は四季がちゃんとありますが、海がないので、空気は乾燥していて、カサカサした感じがします。海が無くても、湖がありますので、小さい頃から、鯉とか、ナマズとかの淡水魚はよく食べていました。淡水魚類は生で食べるはいけないので、最初日本に来た時、魚を生で食べるのにびっくりしました。当時は抵抗感がありましたが、段々と日本は海からの魚が多くて、生で食べるのも安全だと知り、今はもう慣れて、むしろ好きになりました。これは日本に来てびっくりしたことの一つです。

もう一つのは、日本の鉄道です。中国の鉄道は長い移動のために利用するイメージですが、日本のように鉄道を利用し、通学したり通勤したりする事は少ないです。私が、まだ小さい頃は高速列車がないく、地元の済寧市から上海に行くには、10時間くらいかかりました。

又、日本の生き物にもびっくりしました。私の地元は乾燥している気候で、あまりゴキブリを見たことはがなく日本に来て、初めてゴキブリを見ました。大きくて、早くて、何の虫だと疑問を持っていました。今も見たら、スリッパを持って、ガンガンと殴ります。これは日本に来て、とても面白いと感じたことです。

簡単な話となりましたが、他に皆様に興味を持っていることや中国に対する疑問を持っていること等ありましたら、ぜひ私に聞いて下さい。

発行 人間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0023 入間市扇台 3-3-7 ハイッ斎竹 101 号 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

■例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケットホール Tel. 04-2963-1111

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：水村雅啓

